

## 企業理念

わたしたちは  
確かなものづくりを通して  
豊かな社会の実現に貢献します

## 行動指針

- ・信頼を築く
- ・技を磨き、伝える
- ・夢をいだき、挑戦する

## 企業行動5つの誓い

- 法令遵守 ▶ その行為は法律に違反していないか
- 企業倫理 ▶ その行為は企業理念や倫理に違反していないか
- 社会常識 ▶ その行為は社会の常識か
- 社会の目 ▶ その行為は社会の目、安心、安全にそむいていないか
- 自分の心 ▶ その行為は間違いないか、自分の心に問いかける

(2016年現在)  
社名 : 株式会社 NIPPO

英文社名 : NIPPO CORPORATION

設立 : 1934年(昭和9年)2月

本社所在地 : 〒103-0028  
東京都中央区八重洲1-2-16 TGビルディング  
TEL 03-3563-6751(代表)

代表者 : 代表取締役社長 岩田 裕美

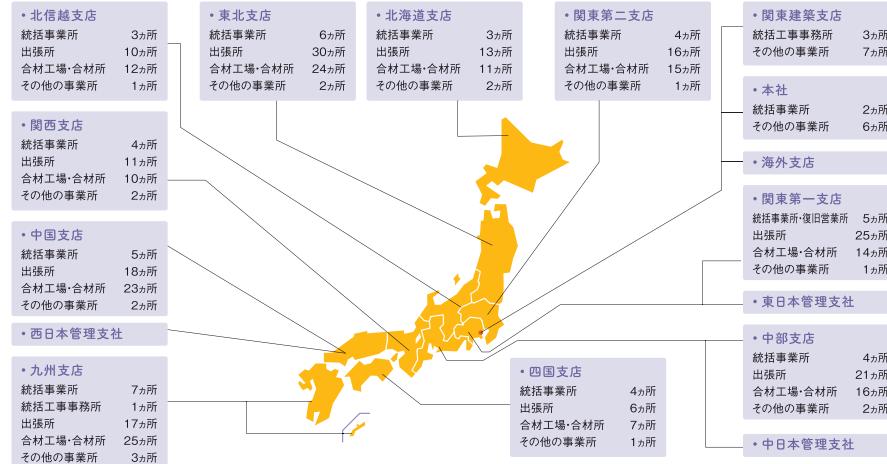
資本金 : 15,324百万円

事業内容 : 建設事業、アスファルト合材等の製造・販売事業、開発事業および他の事業

従業員数 : 1,648人(男性1,563人、女性85人)※2016年3月31日現在

ホームページ : <http://www.nippo-c.co.jp/>

事業所一覧 (2016年4月1日現在)



## CSR活動への取り組み

- 1934 日本石油(株)道路部と浅野物産(株)道路部の合同により「日本鋪道株式会社」を設立
- 1993 企業行動倫理委員会設置
- 1994 環境保全活動推進のための諮問機関として環境管理委員会を設置  
企業理念・行動指針制定
- 1995 シンボルマーク改訂
- 1998 環境に関する基本理念と行動指針を表した環境保全活動指針を制定
- 2003 日本鋪道株式会社が、新日石エンジニアリング株式会社を吸収分割して「株式会社NIPPOコーポレーション」に商号変更  
法令遵守(コンプライアンス)体制構築
- 2004 環境報告書創刊
- 2005 CSR体制構築
- 2006 企業理念・行動指針改訂
- 2007 CSRレポート創刊
- 2009 「株式会社NIPPO」に商号変更
- 2012 プラントエンジニアリング部門を「JXエンジニアリング株式会社」に会社分割

## CONTENTS

会社概要	1
トップメッセージ	3
NIPPOの事業	5
マネジメント報告	
コーポレート・ガバナンス	7
CSRマネジメント	8
コンプライアンス	9
品質保証体制	11
環境・安全報告	
安全管理	12
環境マネジメントシステム	13
舗装事業における環境保全活動	15
舗装事業における環境技術	17
戦略事業における環境・安全配慮	19
社会性報告	
お客様の信頼を得るために	21
従業員とのかかわり	23
社会とのコミュニケーション	25
読者の声を受けて	27
第三者意見	30

## ・編集方針。

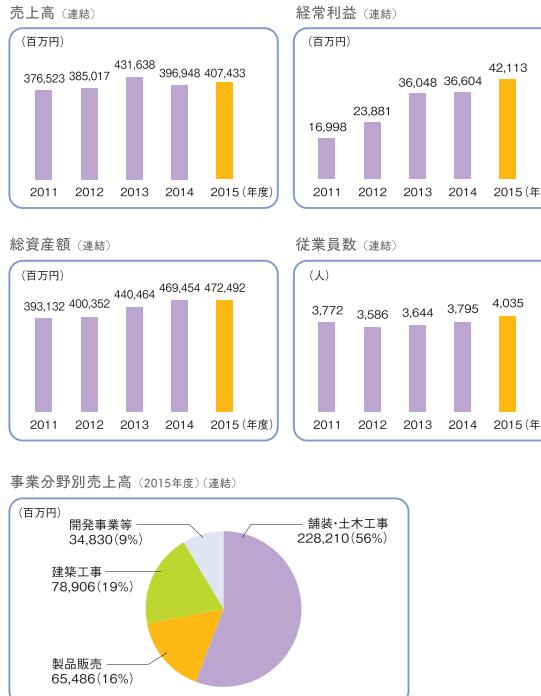
CSRとは、Corporate Social Responsibilityの略で、「企業の社会における信頼性」と訳されます。このCSRレポートでは、株式会社NIPPOが社会から信頼されるために取り組んでいる活動を紹介し、一般の方にとってなじみの薄い建設業を事業活動の中心とする株式会社NIPPOと、経済、環境、社会とのかかわりについて、多くの方々に知りたいことを編集の基本方針としています。

このレポートをツールとして当社と関わる多くの方々とのコミュニケーションをさらに充実させていきたいと思います。

## ・対象範囲と対象期間。

対象範囲：株式会社NIPPOの本社、管理支社3ヶ所、支店12ヶ所、統括事業所、統括工事事務所、復旧営業所51ヶ所、現業事業所354ヶ所(海外を除く)。

対象期間：2015年度  
(2015年4月1日から2016年3月31日)  
一部には、時期を明示した上で2015年度以前の情報と2016年9月までの最新情報を掲載しています。



# 確かなものづくりを実践し 社会の信頼に応えてまいります。

株式会社 NIPPO  
代表取締役社長

岩田裕美



## はじめに

このたびの熊本地震におきまして、亡くなられた方々のご冥福をお祈り申し上げますとともに、ご遺族、被災されました皆様方に心よりお見舞い申し上げます。

NIPPOグループでは、被災地の一戸も早い復興に向か全力で支援してまいります。

## 安全への取り組み

「人命尊重」を基本とする企業においては、死亡事故を未然に防ぐ取り組みを常に行っていかなければなりませんが、その取り組みが形骸化しては意味がありません。真の取り組みを行うためには「当事者意識」を持つことが重要です。「当事者意識」を持つことにより、他で起こっていることを自分の事として意識し、先手を打って事故防止の対策を進めることができます。

当社では「当事者意識」を持つこと、そして現場に足を運び、現物を確認し、現実を目で見る「三現主義」の実践を基本として、死亡事故を絶対起こさせないために取り組んだ「安全作業4つの誓い」の実施を徹底しています。

- ①重機・車両後退時「誘導合図の確認」
- ②土砂崩壊「土止めの確認」
- ③転落・墜落「安全帯の確認」
- ④非定常時作業「装置停止の確認」

安全は一朝一夕で成るものではありません。小さな努力を積み上げていくことでしか成しません。ルールとして決めたことを確実に守り、これからも、粘り強く安全に取り組んでまいります。

## 確かなものづくり

当社の企業理念にある「確かなものづくり」の言葉には、環境に配慮し、安全に世の中の決まりごとをしっかりと守り、確かな品質のものをお客様にお届けする、という意味が込められています。つまり、法令遵守や品質保証、安全管理、環境保全等についての要求事項を満たすことです。当社が将来にわたり生き残るために、この「確かなものづくり」を通して、法令、品質、安全、環境など、あらゆる社会的要求に適正に応え、お客様から選ばれ続けなければなりません。

しかしながら、当社および当社従業員は、2016年2月、東日本大震災に係る舗装災害復旧工事の入札に関する独占禁止法違反の容疑により、東京地方検察庁から起訴されましたことは、誠に残念であり、深く反省とともに、ステークホルダーの皆様に多大なるご迷惑とご心配をお掛けしましたことを、心からお詫び申し上げます。

「確かなものづくり」はCSR活動そのものです。当社はこのたびの事態を厳粛に受け止め、皆様からの信頼を一日でも早く回復できるよう、「確かなものづくり」の一層の強化・徹底を図り、違反行為の根絶と再発防止に向け、役員・従業員一同、全力で取り組んでまいります。

## 環境にやさしい技術への取り組み

当社は、アスファルトやコンクリートのがれき類(建設副産物)を受け入れ、骨材として再利用する「アスファルト舗装のリサイクル技術」の研究開発を、半世紀近く前から取り組み始めました。また、廃ガラスやゴミ溶融スラグ等の産業副産物も舗装材料に活用できる技術の開発を進めるなど、資源循環型社会の構築に向けた研究開発を推進しています。

環境負荷低減に向けた技術では、アスファルト合材製造時にCO<sub>2</sub>排出量を削減する「中温化技術」や、都市のヒートアイランド現象を抑制する「遮熱性舗装」の開発を進めています。特に「遮熱性舗装」については、車道用から開発を始め、今では、住宅用、歩行者用、そしてスポーツ施設周りに適用できる商品など、幅広いラインアップを用意して普及展開を進めています。

当社はこれからも、環境にやさしい技術の開発に取り組み、社会に貢献してまいります。

## 社会の一員として

当社は全国各地に事業所を開いており、それぞれの事業所が社会の一員として自然災害の復旧活動をはじめ、地域に密着した清掃活動や交通安全運動、学校グラウンドの整備活動などに取り組んでいます。このたびの熊本地震では、2016年度の新入社員が被災地におきましてボランティア活

動に取り組みました。微力ではありましたが、被災者の皆様の力になれたのではないかと思っております。

この他、認定NPO法人「世界の子どもにワクチンを 日本委員会」へアスファルト合材1トンにつき1円を寄付する取り組みや、教育教材「おしごとはくぶつかんキッズ」への協賛、さらにはJXグループの一員として「童話の花束」チャリティー活動への参加など、様々な社会貢献活動にも取り組んでおります。

当社は、これからも社会の一員として、皆様とともに歩んでまいります。

## おわりに

国内景気は緩やかな回復基調で推移しておりますが、建設業界におきましては、企業間の熾烈な受注競争や労働力不足など、企業経営を取り巻く環境は厳しい状況にあります。このような状況下にあっても、当社はステークホルダーの皆様のご期待に応え、社会から必要とされる企業であり続けるため、引き続きCSR活動に積極的に取り組んでまいり所存です。

本報告書では、事故防止に向けた安全への取り組みや環境に配慮した技術の開発、さらには地域に密着した社会貢献活動など、私たちが日頃から行っているCSR活動を、できるだけわかりやすくまとめました。またCSRに対する従業員の考え方や各々の取り組みについてもご紹介しています。是非ご一読いただき、皆様のご理解、ご支援、忌憚の無いご意見を賜りますようお願い申し上げます。

# NIPPOの事業

事業活動を通じて、社会の様々な場面で当社の技術力を活かした「確かなものづくり」を実践し、豊かな社会の実現を目指しています。

